

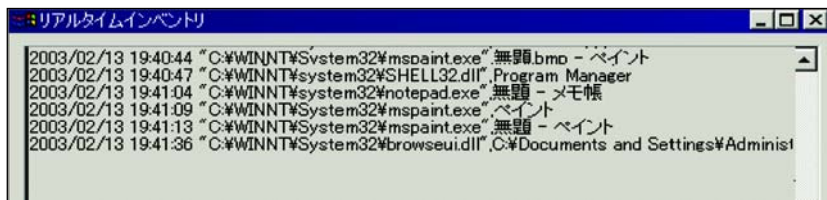
ページ	誤	正	
6	表 「QNDサーバ」	「V スレーブサーバのインストール」	→ 「V スレーブサーバ」
6	表 「QNDサーバ」	「VII アンインストール 4 QNDコンソールのアンインストール」, 「6 マスターサーバのアンインストール」	→ 「VII アンインストール 4 コンソールのアンインストール」, 「VII アンインストール 6 マスターサーバのアンインストール」
8	表 「任意インベントリ」	…「I インベントリ収集 3-4 任意インベントリを収集する設定」	→ …「I インベントリ収集 3-4 任意設定インベントリを収集する設定」
18	管理対象PC:500クライアント以上の場合 「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)	→ 削除
18	管理対象PC:500クライアント以上の場合 「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)	→ 削除
18	管理対象PC:500クライアント以上の場合 「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)	→ 削除
18	管理対象PC:500クライアント以上の場合 「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)	→ 削除
19	管理対象PC:1000クライアント以上の場合 「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)	→ 削除
19	管理対象PC:1000クライアント以上の場合 「QNDコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)	→ 削除
19	管理対象PC:1000クライアント以上の場合 「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Server (SP6a)	→ 削除
19	管理対象PC:1000クライアント以上の場合 「QIVコンソール」	・Windows NT 4.0 Workstation (SP6a)	→ 削除
42	スレーブサーバの図の下の説明	①コンソールからマスターサーバへ指示	→ ①コンソールからマスターサーバへスケジュール実行指示
42	スレーブサーバの図の下の説明	②マスターサーバからホストへ指示。通常はマスターからホストへ指示(UDP)するが、ホストがNAT対応の場合はスレーブサーバ経由で指示(TCP)。	→ ②マスターからホストへスケジュール実行指示 QPオプションがUDPモードの場合は、マスターからホストへ直接スケジュール実行の指示を送信します。 QPオプションがTCPモードの場合は、スレーブサーバ経由でスケジュール実行指示を送信します。
42	スレーブサーバの図の下の説明	③④ホストからデフォルトサーバへタスクの設定内容を問い合わせし、タスクの内容を処理 (③④ アプリケーションDB に関するタスクの問い合わせはマスターサーバ)	→ ③④ホストからデフォルトサーバへタスクの設定内容を問い合わせし、タスクの内容を処理(UDP/TCP) (③④ アプリケーションDB に関するタスクの問い合わせはマスターサーバ)
43	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・TCPモードの場合マスターサーバの指示に従ってホストにプッシュ実行する	→ ・QPオプションがTCPモードのクライアントに対して、スケジュール実行指示を送信
43	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・各ホストへスケジュールを送信する	→ ・各ホストへスケジュールタスクを送信する
62	ヒント 2つめ	…「リファレンス」マニュアルの「VI 付録 18 エラーコード表」を参照してください。	→ …「リファレンス」マニュアルの「VI 付録 19 エラーコード表」を参照してください。
67	6-1 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ 各スレーブサーバの「サーバ固有の設定」の変更をするには？ 手順2	…「IV サーバ固有の設定」を参照してください。	→ …「IV サーバ固有の設定ダイアログ」を参照してください。
71	マスターサーバが壊れた場合にスレーブサーバをマスターサーバにするには？ 手順3	…QNDPlusのマスターサーバ…	→ …QAWのマスターサーバ…
71	手順4	…下記のフォルダ…	→ …次のフォルダ…
73	手順1	…unslave.exeを実行します。	→ …UNNTSLAVE.EXEを実行します。
78	1-2 ネットワーク環境に応じたQPオプションのモード選択 表の脚注	*2 マスターサーバからPINGが通る場合	→ *2 クライアントからPINGが通る場合
80	表 「NAT対応QPオプション(TCPモード)の間欠接続」参照先 2つめ	・「リファレンス」マニュアル「II タスクのプロパティ 2 SU/QP/RCオプション」	→ ・「リファレンス」マニュアル「II タスクのプロパティ 3 SU/QP/RCオプション」
81	章本文	「リファレンス」マニュアルの「II タスクのプロパティ 2 一般」の「Switch Userを使用する」を参照してください。	→ 「リファレンス」マニュアルの「II タスクのプロパティ 2 一般」の「A: Switch Userを使用する」を参照してください。
82	手順3	WindowsNT/2000/XPクライアントで…	→ WindowsNT/2000/XP/2003クライアントで…
82	インストール後の確認 表の上段	Windows2000/2003の場合	→ Windows2000/2003/XPの場合
84	ヒント ホストの管理者アカウントを統一する	…次の「各ホストにQNDサーバ側に登録した管理者を作成する」を参照してください。	→ …次の「2. 各ホストにQNDサーバ側に登録した管理者を作成する」を参照してください。
92	注意 特定OSに対しての実行機能の制限	…「3 Macintoshクライアントの制限」を参照してください。 …「付録 特定のクライアントについての制限 2-4 準備」を参照してください。	→ …「付録 特定のクライアントについての制限 2 Macintoshクライアントの制限」を参照してください。 …「付録 特定のクライアントについての制限 2-8 準備」を参照してください。
95	共有ファイルサーバを使用する	クライアントがWindows3.51の場合は、こちらを選択します。	→ 削除
102	「カスタム」を選択した時に表示される画面 表 3行目	Switch User(NTクライアントのみ有効)	→ Switch User(NT系クライアントのみ有効)
102	手順4	「カスタム」を選択したWindowsNTの場合…開始します。 カスタムを選択したWindowsNT以外の場合…開始します。	→ 「カスタム」を選択したWindowsNT系の場合…開始します。 カスタムを選択したWindowsNT系以外の場合…開始します。
105	「カスタム」を選択した時に表示される画面 表 3行目	Switch User(NTクライアントのみ有効)	→ Switch User(NT系クライアントのみ有効)
105	手順6	…(WindowsNTクライアントのみ)。	→ …(WindowsNT系クライアントのみ)。
136	②データのバックアップ	…の「データバックアップ」を参照してください。	→ …の「②データバックアップ」を参照してください。
136	③別PCに新規で、いままで使用していたものと同じバージョンのQNDサーバをインストールする	…「QAW Ver.2.2 導入編」マニュアルを参照してください。	→ …今まで使用していたバージョンのQAWマニュアルを参照してください。
144	1-1 機能制限 箇条書きの1番目	対応クライアントOSとして、Windows98/98 Second Edition/ME/2000 Professional/XP Professional/NT Workstationの動作確認をしています。	→ 対応クライアントOSとして、Windows98/98 Second Edition/ME/NT4.0 Workstation/2000 Professional/XP Professional/2003の動作確認をしています。
145	2-1 動作環境 表「CPU」のClassic環境	PowerPC G3以降	→ OSの動作環境として対応しているPowerPC搭載のMacintoshコンピュータ
145	2-1 動作環境 表「CPU」のMacOS X	PowerPC G4以降	→ OSの動作環境として対応しているPowerPC搭載のMacintoshコンピュータ
145	2-2 実行可能タスク リード文	…「3-3 機能制限」を参照してください。	→ …「2-3 機能制限」を参照してください。
152	3-3 QND Unixエージェントの運用準備	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…	→ …QAW製品CDの[QAW]-[unix_agent]フォルダ…
152	3-4 コマンドラインオプションの説明	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…	→ …QAW製品CDの[QAW]-[unix_agent]フォルダ…
153	3-5 コンフィグレーションファイル	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…	→ …QAW製品CDの[QAW]-[unix_agent]フォルダ…
153	3-6 任意設定インベントリ	…QND製品CDの[QND]-[Unix]フォルダ…	→ …QAW製品CDの[QAW]-[unix_agent]フォルダ…
154	3-9 インベントリ情報として収集できる項目 一覧	…「VI 付録 17 Unixエージェントインベントリ一覧」を参照してください。	→ …「VI 付録 18 Unixエージェントインベントリ一覧」を参照してください。

New

※今回新たに追加した内容はありません

ページ		誤	正
1	目次 「II ホスト管理」	「4 リアルタイムインベントリを参照する」の次行	下記の追加をお願いします。 → 5 ホストに電子メールを送信する…………… ……143
		5 デスクトップにスタンプと文字列を表示する	→ 6 デスクトップにスタンプと文字列を表示する
		6 ホスト管理例	→ 7 ホスト管理例
		7 グループ/フィルタの利用	→ 8 グループ/フィルタの利用
82	注意 ホスト側の情報も更新するには	…「10-1 管理者が設定/更新した情報を、ホストの任意インベントリに設定する」を参照してください。	→ …「10-1 管理者が設定/更新した情報を、ホストの任意設定インベントリに設定する」を参照してください。
101	11-3 最新のインベントリと鹿児のインベントリとの差分表示	「9-1 インベントリ情報の履歴を保存する」で…	→ 「11-1 インベントリ情報の履歴の保存設定」で…
109	II ホスト管理 目次	「4 リアルタイムインベントリを参照する」の次行	下記の追加をお願いします。 → 5 ホストに電子メールを送信する…………… ……143
		5 デスクトップにスタンプと文字列を表示する	→ 6 デスクトップにスタンプと文字列を表示する
		6 ホスト管理例	→ 7 ホスト管理例
		7 グループ/フィルタの利用	→ 8 グループ/フィルタの利用
140	4 リアルタイムインベントリを参照する 図	図が正しくありません	→ ※「リアルタイムインベントリ」の図を参照してください。
159	クライアントでの操作 手順2	ホスト側に次のダイアログが表示されたら、支店名を選択します。	→ ホスト側に次のダイアログが表示されたら、支店名を選択[次へ]をクリックします。
176	表 「ソフトウェア名」	「Adobe Acrobat Reader 6.0」と入力します。	→ 「Adobe Reader 6.0」と入力します。
211	ヒント アプリケーションに関するホストのプロパティ	図が正しくありません	→ ※「アプリケーションDBのプロパティ」の図を参照してください。
280	開始 ヒント		→ ※3番目のヒントとして「ヒントA」を追加してください。
281	Ctrl/Alt/Delの送信	…、WindowsNT3.51…	→ 削除

リアルタイムインベントリ



アプリケーションDBのプロパティ



ヒントA

◆ヒント リモートコントロール時に負荷が高く操作しにくい場合

リモートコントロールで表示しているホストのデスクトップウィンドウのタイトルバーを右クリックするとショートカットメニューが表示されます。  
「自動画面更新」のチェックのオン・オフを切り換えることで画面の更新のタイミングを設定することができますので、チェックをオフにしてお試しください。

チェックをオンにした場合	0.5秒に一度画面の更新を行います。
チェックをオフにした場合	定期的な更新は行わずに、画面が更新されたタイミングを検知して画面更新を行います。

QAW2.6 リファレンス 正誤表

2004年10月22日 クオリティ株式会社

※今回新たに追加した内容はありません

ページ		誤	正
表紙裏	10番目	* 本書ではMicrosoft Windows NT operating system、Microsoft Windows 2000 operating system、Microsoft Windows XP operating systemに共通する内容については、WindowsNTと記述している場合があります。	* 本書ではMicrosoft Windows NT operating system、Microsoft Windows 2000 operating system、Microsoft Windows XP operating system、Microsoft Windows 2003 operating systemに共通する内容については、WindowsNT系と記述している場合があります。
12	ハードウェアインベントリを既存インベントリとマッチングさせて出力する	既存インベントリは、「付録 5 ハードウェアインベントリ一覧」の…	既存インベントリは、「付録 4 ハードウェアインベントリ一覧」の…
60	共有ファイルサーバを使用する	クライアントがWindows3.51の場合は、こちらを選択します。	削除
115	管理者権限でレジストリ/INIファイルの取得を行うタスクを実行する場合	…Windows3.1…	削除
148	表 セットアッププログラム名	ファイルをローカルパスで指定した場合は、ホストのローカルディスク上のファイルと解釈されます。	左記の後ろに下記の内容を追記してください。 → ただし、ネットワークボリュームが割り当てられたドライブ文字が含まれているパスを指定した場合正しく実行できない場合があります。
167	表 モバイルユーザ(KeyAccess+KeyCheckout)	ホストにKeyAccessとKeyCheckoutをインストールします。	ホストにKeyAccessとKeyCheckoutをインストールします。 → WindowsNT系のホスト場合はインストール後にPCの再起動を必ず行なってください。
168	注意 QAWIによるキー付けの制限 箇条書きの3番目全て	・クライアントがWindowsNT3.51の場合…必要があります。 キー:HKEY…¥Key32.exe 名前:Path 値:C:¥Program Files¥KeyServer	削除
203	使用しているオペレーティングシステムの種類 Windows3.1	OSがWindows3.1の場合にチェックボックスをオンにします。	QAW Ver.2.6ではWindows3.1クライアントは動作対象外です。
256	スレーブサーバの図の下の説明	①コンソールからマスターサーバへ指示	①コンソールからマスターサーバへスケジュール実行指示
256	スレーブサーバの図の下の説明	②マスターサーバからホストへ指示。通常はマスターからホストへ指示(UDP)するが、ホストがNAT対応の場合はスレーブサーバ経由で指示(TCP)。	②マスターからホストへスケジュール実行指示 QPオプションがUDPモードの場合は、マスターからホストへ直接スケジュール実行の指示を送信します。 QPオプションがTCPモードの場合は、スレーブサーバ経由でスケジュール実行指示を送信します。
256	スレーブサーバの図の下の説明	③④ホストからデフォルトサーバへタスクの設定内容を問い合わせし、タスクの内容を処理 (③④ アプリケーションDB に関するタスクの問い合わせはマスターサーバ)	③④ホストからデフォルトサーバへタスクの設定内容を問い合わせし、タスクの内容を処理 (UDP/TCP) (③④ アプリケーションDB に関するタスクの問い合わせはマスターサーバ)
257	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・TCPモードの場合マスターサーバの指示に従ってホストにプッシュ実行する	・QPオプションがTCPモードのクライアントに対して、スケジュール実行指示を送信
257	スレーブサーバの役割 ホストを分散化し管理するスレーブサーバ	・各ホストへスケジュールを送信する	・各ホストへスケジュールタスクを送信する
277	2-4 クライアント主導で行うブル実行	…「4-4 クライアントが主導で行うブル実行」…	…「4-4 クライアント主導で行うブル実行」…
280	各スレーブサーバの「サーバ固有の設定」の変更をするには？ 手順2	詳しくは本マニュアルの「IV サーバ固有の設定」を参照してください。	詳しくは本マニュアルの「IV サーバ固有の設定ダイアログ」を参照してください。
298	表の一番最後の行	CSV番号:120 名称:ドライブの種類 説明:A~E以外のドライブ可変	→ CSV番号:130 名称:ドライブの種類 説明:A~E以外のドライブ可変
299	表の一番上の行	CSV番号:130 名称:ドライブの種類 説明:A~E以外のドライブ可変	→ 削除
334 351	表 No.39「各ドライブ総容量」	「Unix エージェント」欄 ○	→ ×
334 351	表 No.40「空き容量」	「Unix エージェント」欄 ○	→ ×
346	インベントリの保存場所と種類	QAW2.2より…	→ QAW2.6より…

# QIV Ver.4.6 正誤表

2004年10月22日 クオリティ株式会社

New

ページ	誤		正
14	1-1 QIVコンソールの対応OS	Windows NT 4.0(SP6a)	→ 削除
14	1-1 QIVコンソールの対応OS	Windows XP	→ 追加
37	3-4 列幅の変更	…「VI 台帳の設定 2-1 項目項目の追加/削除」を参照してください。	→ …「VI 台帳の設定 2-1 台帳項目の追加/削除」を参照してください。
68	章本文	対象ソフト及びバージョンについては「 <a href="http://www.quality.co.jp/products/QND/adobe/">http://www.quality.co.jp/products/QND/adobe/</a> 」を参照してください。	→ 対象ソフト及びバージョンについては「 <a href="http://www.quality.co.jp/products/QND/kinou/daityou_QIV.html">http://www.quality.co.jp/products/QND/kinou/daityou_QIV.html</a> 」を参照してください。
68	Macintosh の場合 手順 1	詳しくは、「導入編」マニュアルの「付録 3 Macintosh クライアントの制限」の章を参照してください。	→ 詳しくは、「導入編」マニュアルの「付録 2 Macintosh クライアントの制限」の章を参照してください。